

遠野市で出荷再開に備え椎茸振興共進会を開催

遠野市しいたけ産業推進協議会（江川幸男会長）は、平成26年6月30日、同市内のサンパークやなぎで「第34回遠野市椎茸振興共進会」を開催しました。

国からの出荷制限指示により、原木しいたけが販売できない状況ですが、生産意欲の維持と技術の向上のため3年ぶりに開かれました。



10名の生産者から5銘柄に26点の出品があり、品質、品揃い、乾燥技術などを基準に審査が行われた結果、それぞれの銘柄で優秀賞、優良賞、奨励賞が決定され、上位入賞者には、江川協議会長から賞状と記念品が贈られました。

出品物は、残念ながら出荷制限を受けているため、共進会終了後、出品者に返却されました。



審査会終了後には、日本椎茸農業協同組合連合会の常務関本義仁氏が「現在の椎茸産業について」と題して講演を行い、中央での乾しいたけをめぐる状況などの情報提供がありました。

放射性物質低減のための生産管理など出荷制限解除に向けた取組みを実施しているところですが、遠野市の生産者にとっては、原木しいたけの産地再生に向けた決意を新たにする催しとなりました。